



# The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 2846回  
2015年5月29日  
第44回例会  
毎週金曜日

## ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

2014-2015年度 R I 会長  
ゲイリーC.K. ホアン

会報編集 石蔵尚之委員長

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171

◀ 例会場

事務局 ▶

清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505

[URL] <http://www12.ocn.ne.jp/~hrc/>

[E-mail] [hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp](mailto:hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp)

点 鐘 鳥井正徳会長  
歌 唱 ヲグリーダール 山田仁法委員長  
国歌「君が代」  
R S「奉仕の理想」  
司会・進行 水野プログラム委員長

### 会長の時間

会長 鳥井正徳



昨夜は、ローターアクト例会に出席いたしました。6年間がんばっていただき今回退会される吉本会員の「わたしを忘れないで」というすばらしい卓話を中心に、笑顔いっぱいの充実した例会でした。お世話いた

だく安達委員長のご指導の下に益々充実したローターアクトクラブになっていることを頼もしく思い、会員の成長を感じました。これからもアクトの支援をよろしくお願い致します。

去る24~25日は、ゴルフ愛好会で「大人の修学旅行 in 宮崎」と銘打って、かの有名な宮崎カントリークラブで2日間のゴルフを楽しませていただきました。1日目に12名、2日目に13名も参加いただき、盛会裡に無事終了することができました。夜の懇親会もいつもと違った雰囲気の中で大いに盛り上がりました。2日間を通じて誰が一番成績優秀だったかとい

と思います。中心となってお世話いただきました北会員をはじめ、ご参加いただいた会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

御存知のように中川貴夫P会長は、昨年到现在に続いて地区研修委員RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）の委員長として多忙な日々を送っておられます。本日からRLIの東京での研修会に出かけておられます。

そこでこのRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）とはどんなものか、ロータリー情報ハンドブックに詳しく載っていますので御存知と思いますがかいつまんで説明申し上げます。

#### ①RLIとは

ロータリークラブの潜在的なリーダーのためのリーダーシップ開発プログラムを実施する各ロータリー地区の（草の根の）連合組織であるとあります。分かり易く言いますと「RLIは、質の高いリーダーシップの研修を通じて、クラブの活性化を願った合同プログラム（学会）である」ということです。

#### ②参加者

RLIの研修は、将来ロータリー活動の指導力を発揮できる人に焦点をあてるが、特別の役職にあたる人に焦点を合わせるものではない。

#### ③研修

従って、この研修方法は、ロータリーをよく理解し、ロータリーの意欲を高揚するために参加者にとって都合の良い場所と時間を選び、研修方法は講義や講演ではなく斬新的な討論方法を活用して、参加者によるディスカッション方式で行われます。（講義スタイルでなく決められたテーマについて意見を自由に出し合う討論形式と言うことです。）

#### ④目的

RLIの目的は、ロータリーの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔

軟性を育て、ロータリーを活性化することであるとされている。

#### ⑤背景

・ロータリー創設後100年が経過し、社会構造や人の社会に対する意識が変わってきている。特に事業や職業の世界が激変している。

・青少年や婦人層とロータリアン世代の間の意識や感覚に大きなギャップが生じたり、社会や文化に対する相互の認識や価値観が違ってきており、ロータリー活動もあらゆる面で複雑で矛盾した現象が生じている。

・異なった価値観や社会意識を埋めるには、根本問題を分析し、話し合い、各世代のロータリアンやロータリー世界の理解を進めない限り今後のロータリーの発展は望めない。

・ロータリーに関して十分な理解を持たないロータリアンが増え、話し合いも出来ず、ロータリーを去っていく人が多いのは残念である。

このロータリー・リーダーシップ研修を受けられた方々が、地区での研修を推進されることになると思います。中川パスト会長には大変な役を引き受けていただいたと今になって思います。

ぜひご協力をお願いしたいと思います。

### 幹事報告

幹事 有馬宏昭



#### 【連絡事項】

- ①国際ロータリー第2720地区ガバナー事務所から2015年6月のロータリーレートは1ドル=118円と連絡がありました。
- ②国際ロータリー第2720地区2015～2016年赤川治之地区会員増強部門長から会員増強セミナー開催のご案内が届いています。  
日時:平成27年6月27日(土)13:00～16:00  
場所:ホルトホール大分(大分駅南)  
出席者:次期クラブ会長、次々年度会長予定者  
クラブ会員増強委員長、他希望者  
→延岡会長エレクトへ
- ③人吉市暴力追放協議会から「平成27年度人吉市暴力追放協議会総会の開催通知」が届いています。  
日時:6月12日(金)17:00～  
場所:清流山水花あゆの里  
→延岡会長エレクトへ
- ④人吉市みどり推進協議会から「平成27年度人吉市みどり推進協議会総会の開催通知」が届いています。  
日時:6月5日(金)9:30開会  
会場:人吉市役所別館202会議室  
→延岡会長エレクトへ
- ⑤独立行政法人地域医療機能推進機構

人吉医療センター 木村正美院長から、『日本医療マネジメント学会第14回九州・山口連合大会』の趣意書と寄付金依頼が届いています。

日時:2015年11月20日(金)・21日(土)

会場:人吉市カチャパレス・人吉スポーツパレス

→延岡会長エレクトへ

#### 【回覧物】

玉名中央RC週報

#### 【例会変更及び取り止め】

八代南RC6/16→18:30～「慶寿の会・新会員歓迎会・

黄綬褒章受賞祝い」の為 会場:八代グランドホテル

6/30→クラブ定款に基づき取り止め



### 第1回米山功労者 感謝状贈呈 山賀勝彦会員 本田 節会員



### 出席率報告

委員長 村山能史

本日の出席率			
会員数	64名	79.66%	
出席免除	5名	5/15出席率	83.33%
欠席者数	12名	補填数	10名
出席者数	47名	修正出席率	100%

\*届け出欠席 齊藤・有村・宮山・岩井・中村・竹長・下田  
中川・和田・小林祐・外山・尾上

\*出席免除会員(b) 増田、愛甲、高山、丸尾、釜田

\*メイクアップ

多良木RC; 中川

クリーン人吉; 鳥井・堤脩・山田

地区研修・協議会; 安達・延岡・水野・本田・葉山・塚本





## 会員増強維持部門

次年度会員組織増強委員長  
北 昌二郎



### 【1】部門別協議会

#### (1) はじめに

全体会議の内容は割愛します

部門別協議会について報告します。昼食後、13時30分より保健科学大2号館2208教室において、赤川部門長(大分中央RC所属)によるグループ討議が行われました。野田三郎ガバナー当該年度においては、会員の維持と増強が掲げられ、次の5つの戦略案が提示されました。

1. 会員の減少に歯止めをかけるとともに、増強に努める。
2. 会員数20名以下クラブの増強支援。
3. 若い会員・女性会員を増やす。
4. 奉仕プロジェクトを強化し、地域社会にロータリーの魅力を訴え会員増強に繋げる。
5. ロータリーブランド力の強化

以上の説明が手短かに説明されたあとに、グループ別の討議へと移りました。

簡単にグループ内で出された意見をご紹介します。

#### (2) 地区RCの現状

##### ●武内さん(日田RC)

- ①40代の入会が多い→JCの情報にいち早く対応しているから
- ②口説き文句は「ロータリーのためではなく、日田市のために」という地域貢献をアピール
- ③親睦との連携が重要
- ④会員の退会防止には奥様の協力が重要

##### ●山田さん(玉名RC)

- 40代をターゲットにしている  
JC卒業生にいち早くコンタクトする。

##### ●鍋島さん(肥後大津RC)

- ①入会を考えている人へ親睦事業への招待や例会への招待
- ②維持活動としては、月1回の夜例会の開催。その後の懇親会の開催

##### ●野間(熊本東RC)

若い方をターゲットにしている

##### ●板井さん(別府北RC)

現在32名具体的な会員目標(50名)を設定して獲得に努める。女性会員の増強

##### ●岡田さん(大分臨海RC)

5名目標 女性会員を入れる 月1回は夜の例会  
その後懇親会

##### ●深谷さん(本渡RC)

- ①現在38名 会長の依頼をするとRCやめると言い出すので、頼めない状況。
- ②2回目の会長を依頼している。
- ③若い人は昼の例会に難色を示す。

##### ●河村さん(宇佐RC)

現在33名 例会の食事に誘う。例会に来てくれた人は7割から8割入会してくれる

##### ●谷川さん(佐伯RC)

現在28名、25年前は56名、先輩から誘われるうちが花、そう思って勧誘に励んでいる。

#### (3) まとめ

個人的な見解ではありますが、多くのRCクラブが会員増強維持活動を永遠のテーマとして取り組んでいるようです。そのやり方は、それぞれのRCで工夫され、実行されて、成果を上げているところもあれば、まだ成果の出ていないところもあるようです。また、若い会員の獲得に青年会議所の卒業生に、他の団体よりも早くコンタクトすることが重要なようです。そして入会した場合には、RCが楽しいと思ってもらえるような維持活動を取り入れなければ定着しないようです。

やはり究極は「楽しくなければ、ロータリーではない」と言って良いのではないのでしょうか。ロータリーに入会して、友達ができた。ロータリーに入会して仕事が増えた。ロータリーに入会して勉強になった。そして妻も子もロータリーの行事に参加して楽しかったと言ってくれた。それが会員増強維持活動のポイントではないかと考えるとところです。

最後に、会員増強も大切です。しかし維持活動も大切です。会員を増やす工夫と退会者を出さない工夫が一つになって初めて大きな成果が得られるのではないのでしょうか。

#### 【2】当該年度 委員会の目標

1. 会員拡大→会員拡大目標設定
2. 職業分類→空白部分の補てんを検討する。
3. 会員維持→魔の6月「退会防止月間」
4. 新入会員教育→DVD「ようこそロータリーへ」の活用
5. 女性だけの交流会、女子会の企画

## 6. 会員増強ゴルフコンペの開催、その他会員増強〇〇の実施と言った、奉仕プロジェクトとの連携事業の実施

### 青少年奉仕部門会

次年度青少年育成委員長  
井手富浩



部門会では、まず、全体委員会開催後、Aグループ（インターアクト）Bグループ（ローターアクト）に分れて意見交換会が開催されました。

協議会では、リーダーに河野誠男（中津中央）部門長、サブリーダーに永田壮一（熊本城東）青少年交換委員長、安達玄一（人吉）ローターアクト委員長、森 國次（荒尾）インターアクト委員長、井上邦広（大分キャピタル）ライラ委員長、アドバイザーに木下光一（大分城西）PGを迎え開催されました。

まず、全体会議では、河野部門長より青少年奉仕部門の活動方針として、次年度RIラビンドラン会長のテーマである「世界へのプレゼントになるろう」の元「次世代を担う青少年の育成できるロータリアンこそ世界へのプレゼント」が示され次年度野田ガバナー方針では、次の世代を担う青少年活動に注力することに注力すると宣言され、当年度では、ローターアクト、インターアクト活動の充実は元より、青少年交換（留学）の再開、ライラ委員会の再編入等、より包括的な青少年奉仕活動を目指し、4つの小委員会構成となりました。そして、当該4小委員会の有機的なつながりを通じて、青少年とロータリーの中核的価値観（奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ、使命感）の共有を目指します。

また、その委員会の予算に於いても、地区委員会予算13,210（千円）の内、青少年奉仕部門には、4,160（千円）が配分されております。また、重点方針の1つとしてローターアクト、インターアクトの地区内未提唱クラブへ新規クラブ設立へ向けての助成金を含めた提言がなされました。

次に 永田壮一（熊本城東）青少年交換委員長より、RIから地区に推奨されている青少年奉仕部門の活動は、青少年交換プログラム、インターアクト、ライラ（RYLA）の3つの活動であり、当地区では、2003年から13年間活動停止していた青少年交換（留学）プログラムを次年度再開すべく活動が開始されました。

次年度を「青少年交換元年」と位置づけ「危機管理の徹底」「交換留学生及び受入家族の選抜マニュアル化」「短期交換留学の試行」を行う予定です。具体的には、2名の高校生（15才～18歳）の4週間程度の留学が計画されております。

続けて、井上邦広（大分キャピタル）ライラ委員長より、ロータリー青少年指導養成プログラム

（RYLA）は、年齢14才～30才の若者を対象にスキルと人格を養いながら、ロータリーの価値観を学ぶ機会を提供し、青少年のリーダーを育成することを目的としています。

また、一方ロータリー地区にとっては、新たな活力とアイデアがもたらされ、社会奉仕プロジェクトへの支援が増えると共に、将来のロータリアンを育成できるという恩恵がありますが、当地区では、1985年（昭和60年）以来、30年間に渡りその活動が未実施（公式には）であり、次年度野田ガバナーが掲げる地区スローガン「ロータリー活動を通じて、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」を推進する為に、次世代のリーダーシップ養成に役立つセミナーを実施すると同時に参加するロータリアンにも指導者としてのスキル向上が図れるようなプログラムを計画しました。

具体的には平成27年9月12日（土）～平成27年9月13日（日）熊本阿蘇YMCAに於いて、青少年参加数40名程度と委員会スタッフ20名程度、合計60名で実施予定です。

各クラブのインターアクター、ローターアクト等、是非参加の御協力を御願い致します。

続いて、A（インターアクト）B（ローターアクト）グループに分れて意見交換会（50分）が行われました。私は、Bグループ（安達地区ローターアクト委員長）に参加しましたが、安達委員長の進行の元、当地区に於けるローターアクトクラブの現状報告及び後藤正太（別府北）次年度地区ローターアクトクラブ代表の2015-16年度地区方針の説明が行われ、ローターアクト自身による拡大計画、新5年戦略計画等のスケジュール案が示され、アクターの熱い想いが伝わりました。

その後、各提唱クラブ、熊本RC（山内氏）、熊本南RC（馬場氏）、大分RC（山田氏）、別府東RC（荒金氏）、日田中央RC（本田氏）より、委員会活動に於けるイベント、会費、会員拡大（里親制度、進出企業）また、他団体（青年会議所、商工会青年部）との差別化等、種々の問題提起、活性化の為の活発な意見交換が行なわれました。

只、現実的には地区でもアクトクラブの休会、廃会が進んできており、その対策の為、具体的には、ロータリアンがローターアクトの例会への参加やアドバイスの機会を増やし、クラブ（提唱クラブに限らず）とアクトクラブとの相互交流の場を強化し、米山奨学生の条件としてアクトクラブへの入会義務付等、多くの知恵を結集して、ローターアクト活動の充実を図っていかねばなりません。最後に全体委員会場に戻り、木下PGの総括を頂き、終了しました。

## ロータリー財団部会

次年度R財団委員長  
宮原和広



10時から12時30分まで全体会議、13時30分より部門別会議が始まりロータリー財団部門会へと移動しました。

まず、木村部門長そして岡村PGの挨拶がありました。その後、木村部門長よりロータリー財団の全体的な知識調査ということで全員にプリント（テスト？）が配布され、10分間で回答するように言われました。用紙を渡されましたが、私の場合半分程度しか回答出来ず、他の会員さんも苦慮されている様子でした。

次に、坂口委員長よりロータリー財団寄付等、現状報告と推進ということで、全国と地区との比較、各クラブの寄付状況などの説明がありました。

次に、久峨委員長よりポリオプラス・V T T・平和フェロシップについての制度説明及び現状報告がありました。

次に、瀧委員長より、財団学友・奨学金について学友の状況そして奨学金（グローバル補助金）の概要説明がありました。次に川崎委員長より、地区補助金説明がありました。最後に木村部門長より次年度の財団寄付額一人150ドルを目標に頑張ってくださいとの要望がありました。占めとして、岡村PGの講評があり閉幕致しました。

## 米山記念奨学部会

次年度米山記念奨学委員長  
山賀勝彦



次年度の米山委員長を担当する事になりましたので、米山奨学部会の報告をします。

午後の分科会なので睡魔との闘いになるのではと心配しておりましたが、今回だけは少しは緊張感をもって参加しました。理由は、当クラブが次年度のサブ世話クラブと云うものに指名されました。4月5日に熊本パレアで説明会があり、世話クラブ・カウンセラーの役割等の説明を受けましたが、サブ世話クラブの役割と云うものが、いま一つどんなものか理解出来ませんでした。

この件をしっかりと勉強しようと思い部門別会に参加しました。

部門別会では、お二人のリーダー挨拶の後、グループディスカッションと云う流れで進行されました。

①まず第2720地区米山記念奨学部門長である大分杵築(きつき)RCの秋吉実リーダーによる米山記念奨学会事業の目的と地区の現状及び、積極的な寄付のお願いについての話しがありました。

②次に学友委員長の大分キャピタルRCの高倉康弘委員長より第2720地区の米山学友会は、現在福岡の九州学友会に在籍しているので、これを第2720地区単独の会として設立しようと準備を進めているとの報告がありました。

米山学友会とは、学友と現役奨学生によって組織される米山奨学生の同窓会組織です。奨学期間を終了した後もロータリアンと連携して友情を深める会だそうですが、奨学会を卒業すると、当初は世話クラブやカウンセラーとの関わりも密であるが、ややもすると連絡が途切れてしまう事が多いので、そう云う事を無くそうとするものです。

③三番目に 本題のグループディスカッションがあり、私は大分第4Gと熊本第6Gに属するクラブ5名で話し合いました。あまり活発な意見は出なかったのが残念でしたが、三つのテーマについて話し合いました。

(テーマ1)

『より優秀な奨学生を選考するには何を重視すべきか』

一番目については、中国・韓国に偏り過ぎるとの意見が多いようでした。

・もともと日本で学ぶ留学生全体の60%以上が中国や韓国からの学生である事と成績も優秀なので、指定校からの推薦が多い。選考委員会でも人物面・学業面での優秀性を重視しつつ、特定の国に偏らないように努力しているそうです。

(テーマ2)

『あなたのクラブの特別寄付はどのような方法で集めていますか』

・人吉RCクラブでは会員の家庭や職場での祝い事、又は不幸時のお返しとして米山・財団等に寄付をされるのが慣例となっているので寄付金額が多くなった。

・当クラブの米山委員長より、会員に現在の寄付金合計が幾らなので、後いくらで感謝状とピンバッジがもらえるので頑張るようにとの知らせがある。

・元米山理事（伊久美P会長）が一年間に亘り毎週必ず寄付されている。これで、年間10万円になるので、他クラブの人より感心されました。

(テーマ3)

『学友たちにどのような期待をしますか』

・学友会そのものにあまり馴染み無いので、あまりピンとこない。

・日本と世界とを結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、国際親善と世界平和に寄与してもらいたい。

その他

サブ世話クラブの役割について質問をしましたが、サブ世話クラブの制度そのものが、第2720地区内でも熊本県だけのもので、要領を得るような回答がいただけませんでした。

私も現在、世話クラブである熊本西稜RCのカ

ウンセラーのお方に連絡をとって、次年の準備をしているところです。

※ 本年度、サブ世話クラブとして世話をする奨学生を簡単に紹介します。

氏名；陳 セイ（女性）

国籍；中国

学校・課程；熊本大学・博士

専攻；文化学

博士課程と云う事で、勉学が忙しいかと思えるので一年間どれくらい例会に招く事が出来るか、熊本のカウンセラーと相談し、出来るだけ当クラブ会員との交流を深めるよう努めたいと思います。以上簡単ですが、地区研修会の報告を終わります。

【ニコニコ箱委員会】 委員長 平田フク

・友永会員 早起きソフト市長杯で豊永耳鼻科ソフトボールチームが優勝し、人吉新聞に掲載して頂きましたのでニコニコします。また、手術のため早退いたします。

・鳥井会長 本田会員、山賀会員、第一回米山功労者表彰おめでとうございます。今後とも宜しくお願いします。

・堤正博会員 おかげさまで、お天気に恵まれ織月まつりが盛会裏に終了しました。

【米山記念奨学委員会】

・伊久美会員 毎週行なっています米山特別寄付をいたします。

・葉山会員 米山功労者の受賞おめでとうございます。本田会員、山賀会員、ご協力に感謝します。お二人の言葉に続かれる事を期待しております。

点 鐘 鳥井正徳会長

ガバナー月信5月号より

～ご案内～

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

「信天翁（AHODORI）よちよち歩く」

斉木亀治郎／姫路 R.C.／1970／209p

「ロータリーにおける思考と行動」

菅野多利雄／1972／128p

「ロータリーの初心をたずねて」

小堀憲助／東京千種会／1971／54p

「おゝロータリアン（職業奉仕とは）」

金沢北 R.C.／1975／84pt

「ロータリーの本」

森 光繁／今治 R.C.／1971／126p

「ようこそロータリーへ・新装」

佐藤千壽／東京江北 R.C.／2000／87p

「純粋ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学」

小堀憲助／千種会／2009／79p

「ロータリーの森を歩く」

佐古亮尊／大村北 R.C.／2005／345p

申込先：長崎新聞社出版室 FAX095-848-4856

「ロータリーの心と原点」

廣畑富雄／2014／171p

申込先：(株)エムケイスペース

FAX(092)737-9557

「ロータリーの本」

森 光繁／今治 R.C.／1971／126p

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

開館：午前10時～午後5時（土日祝祭日休館）

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>